

Open Green Standard 1.0について

2016年に発足した「アルプス山岳郷」は、前身の「アルプス観光協会」から、現在の観光地域づくり法人-DMO(destination management organization)へと進化しました。地域・コミュニティを主体として、統合的で機能的なビジョンを打ち出すべく、組織的な発展と醸成に時間を重ねてきました。

そして2023年、アルプス山岳郷としてより良く前進していくために、アルプス山岳郷エリアの全コミュニティが関わり、共に歩んでいくためのコミュニティ credo(=地域理念)「オープン・グリーン・スタンダード」を策定しました。



Community Creed 地域の価値観・信念



私たちは、アルプス山岳郷から日々様々な恩恵を受けている。

その恩恵の源は、3000m級の北アルプス、その高地に広がる圧倒的な自然環境だ。

四季折々に移ろう景観、時間の変化とともに出会える情景、

季節がもたらす山の恵み、清らかな水、多様な動植物との共生・・・。

一方で、自然豊かだからこそ、思い通りにいかない日もある。

雨が降る日もあれば、風が強い日もある。霧が濃い日もあれば、寒さに凍える日もある。

自然は圧倒的で、大きな力の流れによって動いている。

だからこそ美しく、訪れる人、暮らす人、すべての人々が感動できる。

都会的で便利な日常とは異なり、自然に逆らわない、山岳郷の日常に身を置くことで、五感が活性し、

悦び・癒し・希望・慈愛・探求心など前向きな気持ちになることができる。

この自然に畏敬の念をもって日々を過ごせることこそ、私たちの誇り。

先人たちから受け継いだこの自然環境を残し、

その誇りを未来につなぎ次世代に伝えることが、私たちの使命だ。

#アルプスの感動を日々の暮らしに



Community Vision 地域の目指す姿



人と自然が共存しつづけられる地域社会を
=持続可能な取組"Practice"を継続する

アルプス山岳郷で暮らす私たち住民が、高地という厳しくも恵まれた

自然環境の保全と利用を両立させることで、人と自然が調和した暮らしや営みを継続している。

ありのままの自然に身を置き、その魅力を余すことなく楽しんでいる地域の住民とふれあうことで、
移ろいゆく自然景観や地域素材を生かした食、温泉などの上質な体験をいつでも享受できる。

アルプス山岳郷で営みを持つ人々が、暮らし・経営を持続できるよう、
地域として稼げる環境がある。

地域やコミュニティ同士が交流し、協力し合う関係でありつづける。

これらの状態を志し、また維持していくことで

この素晴らしい環境を次世代に受け継いでいくことをめざします。



具体的な行動指針は
コミュニティサイトに
掲載しています！

(一社)松本市アルプス山岳郷

〒390-1501長野県松本市安曇209-1 TEL:0263-94-2221FAX:0263-94-2239

<https://alps-sangakukyo.jp/>

アルプス山岳郷
地域の取組みインタビュー

2023-2024



Alps Sangakukyo
Interview



#アルプスの感動を
日々の暮らしに

アルプス
山岳郷
ALPS SANGAKUKYO

<https://alps-sangakukyo.jp/>

2024年3月発行

アルプス山岳郷 地域の取り組みインタビュー

雄大な自然に抱かれたアルプス山岳郷。ここには、自然の恩恵を受けながら日々の暮らしを営んでいる、魅力あふれる「人」があちこちにいます。アルプス山岳郷では、この地域の「人」と「自然」のかかわり方や、知っているようで知らなかったあんな話やこんな話、新しく始まったチャレンジなど、地域の魅力を発掘するインタビューを続けています。2023年度、アルプス山岳郷サイトに新たに掲載したインタビュー記事をご紹介します。



記事全文は「アルプス山岳郷コミュニティサイト」でお読みいただけます。
コミュニティサイトでは、取り組みインタビューのほか、(一社)アルプス山岳郷が関わるプロジェクトやアルプス山岳郷エリア内で共有したいニュースについても掲載しています。ぜひご覧ください！

<https://community.alps-sangakukyo.jp/>

地域事業者どうしの連携が進んでいます

奈川 「だいじ屋×ふるさと奈川(山のなりわい企画)」

… 山の遊びを伝え、山の暮らしの価値を伝えるフィールドガイド …



だいじ屋 関谷健司さん

奈川をフィールドにした新しいツーリズムが動き出しています。取り組みの中心にるのが、2023年5月に「だいじ屋」という屋号でアウトドアガイド業を始めた関谷健司さんと(株)ふるさと奈川の小出将司さん(2024年4月以降、小出さんは「山のなりわい企画」として活動)。お二人に、現在の取り組みと奈川のこれからについて、話をお聞きました。インタビュー後、実際にツアーを提供する準備が加速し、間もなくスタートというところまで進んでいます。かつて製糸業が国の財政を支えていた時代に、糸引きとなる小女たちが期待と不安で歩いた野麦街道の歴史をたどり、集落を包み込む朝もやが驚くほどに美味しい野菜を育む山の恵みを味わう。そんな奈川の古の記憶と今ある豊かな恵みを体験する「ながわツーリズム」への期待が高まります。



前編



後編

▶▶▶ 前編
community.alps-sangakukyo.jp/2023/12/daijiya-furusato-nagawa1

▶▶▶ 後編
community.alps-sangakukyo.jp/2023/12/daijiya-furusato-nagawa2



(株)ふるさと奈川(山のなりわい企画) 小出将司さん



乗鞍高原「のりくら自然保育 木のこ」

… 感受性豊かな子どもたちと共に 自分を表現できる場所を …

のりくら自然保育 木のこ 相馬落子さん

「コリビングハウス&スペース すもも荘」では、水曜日の放課後に、子どもたちが学校から集まり思い思いに遊ぶ姿があります。相馬さんは、地域内外の幼児~中学生を敷地内で一時的に預かって野外保育をする「のりくら自然保育 木のこ」を主宰しています。また、2023年4月より大野川小中学校のコミュニティスクールコーディネーターとして、地域と学校をつなぐ立場で学校勤務を始めました。そんな相馬さんに、現在の活動について話をお聞きました。



▶▶▶ community.alps-sangakukyo.jp/2023/11/interview-23-soma-norikura-kinoko/



松本市 アルプス山岳郷「地域おこし協力隊」

… 地域の魅力を届け 移住に希望をもってもらえる存在に …

地域おこし協力隊 鈴木健作さん

2023年8月に松本市アルプス山岳郷(以下アルプス山岳郷)に2人の地域おこし協力隊員が赴任しました。「いつかは自然に近いところで暮らしたいと思っていて、最高の場所に来ることができた！」と語るのは、隊員の一人である鈴木健作さん。鈴木さんに地域おこし協力隊員として働くことになったきっかけや、現在の取り組みのほか、この地域への移住にあたってどんなことを思い、赴任して半年経った今、感じていることについて、話をお聞きました。



▶▶▶ community.alps-sangakukyo.jp/2024/02/kyouryokutai-1/



乗鞍高原「Mt. 乗鞍スノーリゾート」

… 松本市民のホームグレンデを目指して …

Mt.乗鞍スノーリゾート 支配人 佐藤 聡乃武さん

極上の雪質が味わえる本格的な山岳グレンデといわれる「Mt.乗鞍スノーリゾート」は、シーズン前半は雪不足かと思いきや、シーズン後半には豊富な雪に恵まれ、今シーズンも多くスキー客を楽しませてくれました。最近のMt.乗鞍スノーリゾートを取り巻く状況や課題感、そして未来への展望やそのために取り組んでいることについて、支配人の佐藤聡乃武さんに話をお聞きました。



▶▶▶ community.alps-sangakukyo.jp/2024/01/mt-norikurasnowresort/



… 豊かさを実感できる地域のモデルとなることを目指して …

地域おこし協力隊 小川 結さん

会社員として都内のシンクタンクに勤めながら、協力隊の任務に就いている小川結さんは現在、主に乗鞍高原ミライズの事務局業とゼロラボ(乗鞍ゼロカーボンラボトリー)のマネジメントを担当し、地域のために奔走中です。海外経験が豊富で、環境省をサポートする立場でCOP(国連気候変動枠組条約締約国会議)の国際交渉に参加したこともある結さん。そんなグローバルな経験をもつ彼女が、なぜ今このアルプス山岳郷の乗鞍高原で地域のために尽力しているのか、話をお聞きました。



▶▶▶ community.alps-sangakukyo.jp/2024/03/kyouryokutai-2/